

2022 年 2 月 17 日
株式会社日立ハイテク

日立ハイテク、CDP「サプライヤーエンゲージメント評価」において 最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定

サプライチェーン全体の CO2 削減への取り組みが評価



株式会社日立ハイテク(以下、日立ハイテク)は、このたび、グローバルに環境調査・情報開示を実施する非営利団体 CDP^{*1}(本部：英国)から、「サプライヤーエンゲージメント評価(SER)」において最高評価にあたる「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。これは、日立ハイテクのサプライチェーン全体における温室効果ガス排出量の削減活動が評価されたもので、日立ハイテクとして今回初めての選定となります。2021 年度、「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定された企業は上位 8 %にあたる約 500 社(うち日本企業は 105 社)です。

日立ハイテクは、2021 年 12 月に CDP から気候変動、および水リスクともに上位から 2 番目の A-(リーダーシップレベル)に認定されましたが、今回はそれに加えての選定となりました。

■CDP「サプライヤーエンゲージメント評価(SER)」について

「サプライヤーエンゲージメント評価」は、どのように企業が気候変動課題に対して効果的にサプライヤーと協働しているかを評価するものです。CDP 気候変動質問書(完全版)に回答した各企業は、4 つの分野の質問(「ガバナンス」、「目標」、「スコープ 3 管理」、「サプライヤーエンゲージメント」)への回答内容に基づいて評価されます。

■日立ハイテクの環境への取り組み

日立ハイテクグループでは、日立グループの一員として環境ビジョンと環境長期目標「日立環境イノベーション 2050^{*2}」達成のために 2030 年度までに事業所(ファクトリー・オフィス)におけるカーボンニュートラルを実現し、さらに 2050 年度までにバリューチェーン全体を通じてカーボンニュートラルを達成することを目標に掲げ、取り組みを推進しています。この取り組みの中で、日立ハイテクは 2018 年度からこれまでに 4 つの事業所でカーボンニュートラルを達成しています。

また、日立ハイテクは、サプライチェーン全体における温室効果ガス排出量の削減にも取り組んでいます。具体的には、「日立グリーン調達ガイドライン^{*3}」を調達パートナーなどの協力会社と共有し、環境保全活動の推進や環境負荷低減を取引先に依頼することで、温室効果ガスの排出抑制やエネルギー効率の向上など、気候変動課題への取り組みを求めています。

日立ハイテクグループは、このたびのサプライヤーエンゲージメント評価(SER)での「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」選定を励みに、グループ会社および協力会社とともに、カーボンニュートラルへの取り組みを推進し、今後も社会・環境価値の創出をめざしてまいります。

*1 CDP：CDPは、環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家等の要請に基づき、企業や自治体に対して、気候変動、水リスク、森林保全等の環境問題への取り組みの促進と情報開示を求める活動を行う非営利団体です。CDPは2000年に英国で設立され、世界の主要企業の環境活動についての情報を収集・分析・評価し、気候変動、気候変動、水リスク、森林保全に関する取り組みと情報開示で最も優れた企業をそれぞれ「Aリスト企業」として毎年選定しています。(<https://japan.cdp.net/>)

*2 日立環境イノベーション 2050：日立が「環境ビジョン」として策定した「日立は、ステークホルダーとの協創による社会イノベーション事業を通じて、環境課題を解決し、生活の質の向上と持続可能な社会の両立を実現します。」というビジョンの下、2050年をターゲットに、グローバルで「脱炭素社会」「高度循環社会」「自然共生社会」の構築をめざすため設定した長期目標。

<https://www.hitachi.co.jp/environment/vision/index.html>

*3 日立グリーン調達ガイドライン：日立製作所が地球環境に配慮した部品・製品の調達に関する基本的な考え方や、調達パートナーへの要望事項をまとめ、調達パートナー各社と共有している冊子。調達パートナーに期待する行動規範は「日立グループ サステナブル調達ガイドライン」にまとめ、具体的なグリーン調達の実施要領は「日立グリーン調達ガイドライン」に記載することで、調達パートナーにより分かりやすく日立グループの取り組み・要請内容をお伝えしています。 <https://www.hitachi.co.jp/procurement/csr/index.html>

■日立ハイテクのサステナビリティへの取り組み

<https://www.hitachi-hightech.com/jp/about/csr/index.html>

■日立ハイテクのマテリアリティ(重要課題) 1 「持続可能な地球環境への貢献」

日立ハイテクグループでは社会からの要請に対して、SDGsを踏まえマテリアリティ(重要課題)を特定しています。特定した5つのマテリアリティのうちの1つが「持続可能な地球環境への貢献」、その活動項目の1つが気候変動対策などの「脱炭素社会の実現」への取り組みです。

https://www.hitachi-hightech.com/jp/about/csr/materiality/global_environment/

■日立ハイテクの気候変動対策

https://www.hitachi-hightech.com/jp/about/csr/environment/speco_factory/climate_change.html

■日立ハイテクについて

日立ハイテクは、2001年、株式会社日立製作所 計測器グループ、同半導体製造装置グループと、先端産業分野における専門商社である日製産業株式会社が統合し、誕生しました。

医用分析装置、バイオ関連製品、分析機器の製造・販売を行う「アナリティカル・ソリューション」、半導体製造装置、解析装置の製造・販売を行う「ナノテクノロジー・ソリューション」、社会・産業インフラ、モビリティなどの分野において高付加価値ソリューションを提供する「インダストリアル・ソリューション」の3つのセグメン

トで、グローバルな事業展開を行っています(2021 年 3 月期日立ハイテクグループ連結売上収益は 6,063 億円)。詳しくは、日立ハイテクのウェブサイト(<https://www.hitachi-hightech.com/jp/>)をご覧ください。

■お問い合わせ先

株式会社日立ハイテク CSR 本部 コーポレート・コミュニケーション部 [西川]

〒105-6409 東京都港区虎ノ門一丁目 17 番 1 号 虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー

電話：080-9207-5949(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
